

## 企業CM第4弾

### 「GOOD FOODS for YOU!(グローバル篇)」を全国展開

ニッスイの届ける新しい“食”の取り組みを伝える企業CM第4弾では、イギリスの伝統的な料理として知られる「フィッシュ&チップス」を通して、ニッスイグループが世界にお届けしている白身魚のグローバルネットワークを表現しました。全国のTVCM、デジタル広告、屋外広告などで展開しました。



企業CM第4弾の放送に合わせて、ニッスイの届ける「GOOD FOODS for YOU!」の取り組みをわかりやすく伝える特設サイトを開設しました。

|| 「GOOD FOODS for YOU!」特設サイト  
▶ [https://www.nissui.co.jp/goodfoods\\_foryou/](https://www.nissui.co.jp/goodfoods_foryou/)



株式会社ニッスイ

〒105-8676  
東京都港区西新橋1-3-1 西新橋スクエア  
ウェブサイト <https://www.nissui.co.jp/>



本誌は環境へのやさしさに配慮して、FSC® 認証紙と植物油インキを使用するとともに、針金を使わない「ECO綴じ」にて製本しています。

#### 表紙への想い

表紙は、ニッスイのグローバルネットワークをイメージしてデザインしました。世界中のあらゆる生活者とニッスイグループ従業員が手を取り合い、つながる様子を表現しています。

# NISSUI REPORT 第109期 中間

2023.4.1 ▶▶▶ 2023.9.30

株式会社ニッスイ

証券コード：1332



まだ見ぬ、食の力を。

# Top Message –株主の皆さまへ–

トップメッセージ

健やかな生活とサステナブルな未来を実現する  
新しい“食”を創造していきます。

株式会社ニッスイ  
代表取締役 社長執行役員  
最高経営責任者(CEO)

浜田 晋吾

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り深く感謝致します。

## 2023年度 第2四半期の実績について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウクライナ情勢の長期化に起因するインフレなどにより景気の先行きに不安感があるなか、新型コロナウイルスが5類感染症に移行したことや全国旅行支援の延長などで人流やインバウンド需要の回復が進み、改善傾向が見られました。

世界経済(連結対象期間1-6月)は、米国で雇用環境の改善や個人消費の増加が続き、欧州でもインバウンド需要の回復を含む人流の増加でサービス業が堅調に推移しましたが、欧米とも高インフレや政策金利の引き上げが続く難しい状況でした。

足元では、欧米で地政学リスクの高まりによる原油価格の上昇など、インフレ再燃による景気減速が懸念

され、国内では社会経済活動の回復やインバウンド需要に期待がある一方、急速な円安による経済への悪影響が懸念されるなどますます不透明な状況となっています。

当社および当社グループは、一昨年よりコストアップで苦戦していた食品事業が国内外とも値上げ効果が継続し、大幅な増益となりました。一方、水産事業は国内養殖がブリを中心に堅調に推移したものの、主力の鮭鱒やすりみなどの市況が下落し減益となりました。

このような状況下で当第2四半期連結累計期間の営業成績は、売上高は4,071億34百万円(前年同期比299億27百万円増)、営業利益は162億75百万円(前年同期比29億42百万円増)、経常利益は170億18



百万円(前年同期比23億1百万円増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は116億85百万円(前年同期比62百万円減)となりました。なお、前期には連結子会社の日水製薬株式会社\*の売却益が計上されていません。

## 2023年度 通期業績予想の修正

急激な円安により売上高が上振れしていることを踏まえ、売上高を下記の通り修正致します。

各段階損益は、インフレ再燃・景気減速の懸念がある一方で、特に国内では人流の回復・インバウンド需要への期待もあり、年末需要期の市況や消費動向を見極めることが必要と判断し変更していません。

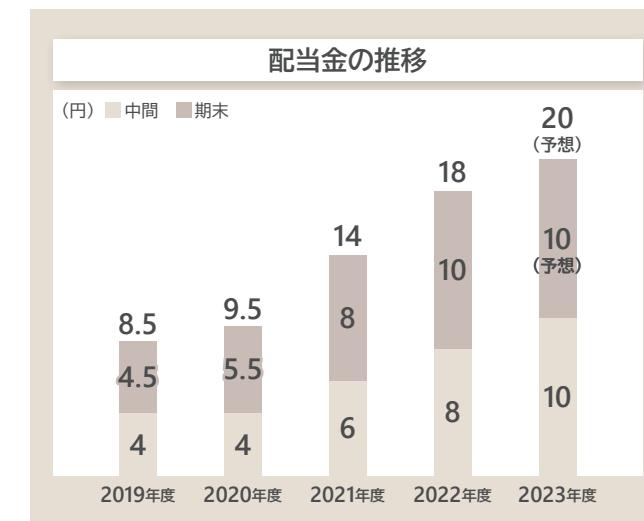
|       | 2023年度<br>期初計画<br>(5月発表) | 2023年度<br>修正計画 | 対期初<br>計画比<br>増減 | 増減率<br>(%) | 2022年度<br>前期実績 |
|-------|--------------------------|----------------|------------------|------------|----------------|
| 売上高   | 8,000億円                  | 8,200億円        | 200億円            | 2.5        | 7,681億円        |
| 営業利益  | 270億円                    | 270億円          | —                | —          | 244億円          |
| 経常利益  | 290億円                    | 290億円          | —                | —          | 277億円          |
| 当期純利益 | 215億円                    | 215億円          | —                | —          | 212億円          |

## 株主還元について

ニッスイグループの利益配分は、長期的・総合的視野に立った企業体質の強化ならびに将来成長が見込まれる分野への事業展開に備えた内部留保に意を用いつつ、経営環境の変化に対応して連結業績に応じた株主還元を行うことを基本方針としています。2023年度中間配当は、期初計画通り2円増配の1株10円とさせていただきます。

事業ポートフォリオ経営とサステナビリティ経営を推進し、企業価値を高める努力をしていきます。引き続きご支援のほどよろしくお願致します。

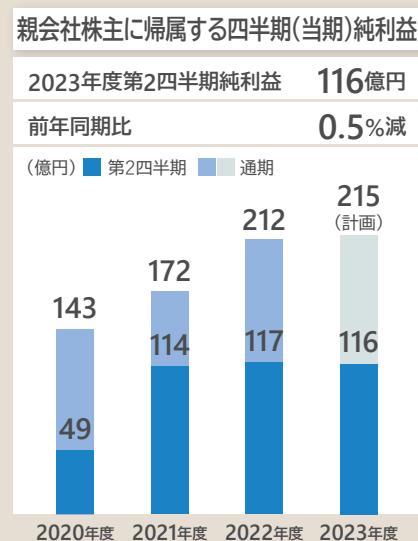
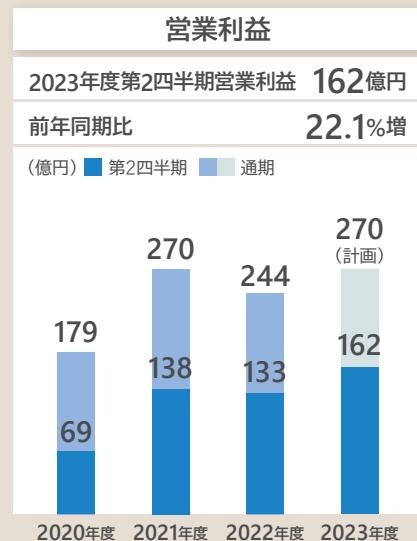
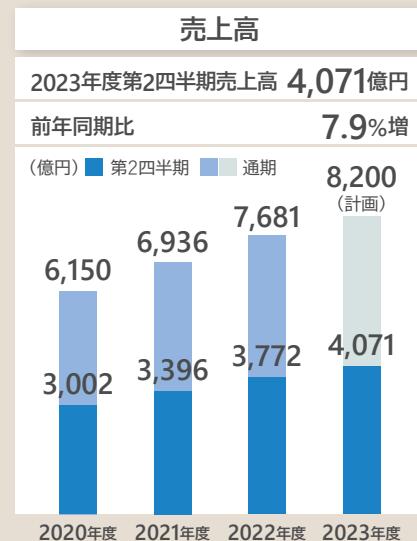
※現：島津ダイアグノスティクス株式会社



# Financial Information

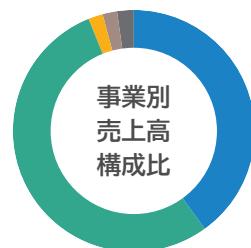
2023年度第2四半期決算情報(2023年4月1日～9月30日)

- 決算のポイント**
- ✓ 売上高は、為替の影響に加え食品の値上げ効果もあり増収
  - ✓ 営業利益は、食品が貢献したことで計画比でも順調に推移
  - ✓ 四半期純利益は前期の日水製薬株式会社\*の株式売却益もあり前年同期並み
- ※現：島津ダイアグノスティクス株式会社



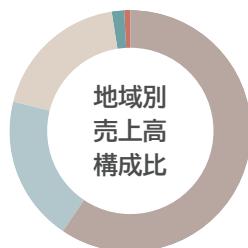
### 事業別売上高構成比

|            |       |         |
|------------|-------|---------|
| 水産事業       | 40.1% | 1,632億円 |
| 食品事業       | 53.8% | 2,191億円 |
| ファインケミカル事業 | 1.9%  | 79億円    |
| 物流事業       | 1.9%  | 77億円    |
| その他        | 2.2%  | 90億円    |



### 地域別売上高構成比

|       |       |         |
|-------|-------|---------|
| 日本    | 59.7% | 2,430億円 |
| 北米    | 19.4% | 790億円   |
| ヨーロッパ | 18.5% | 752億円   |
| 南米    | 1.8%  | 72億円    |
| アジア   | 0.6%  | 25億円    |



IR情報  
<https://www.nissui.co.jp/ir/index.html>



# Special Topic

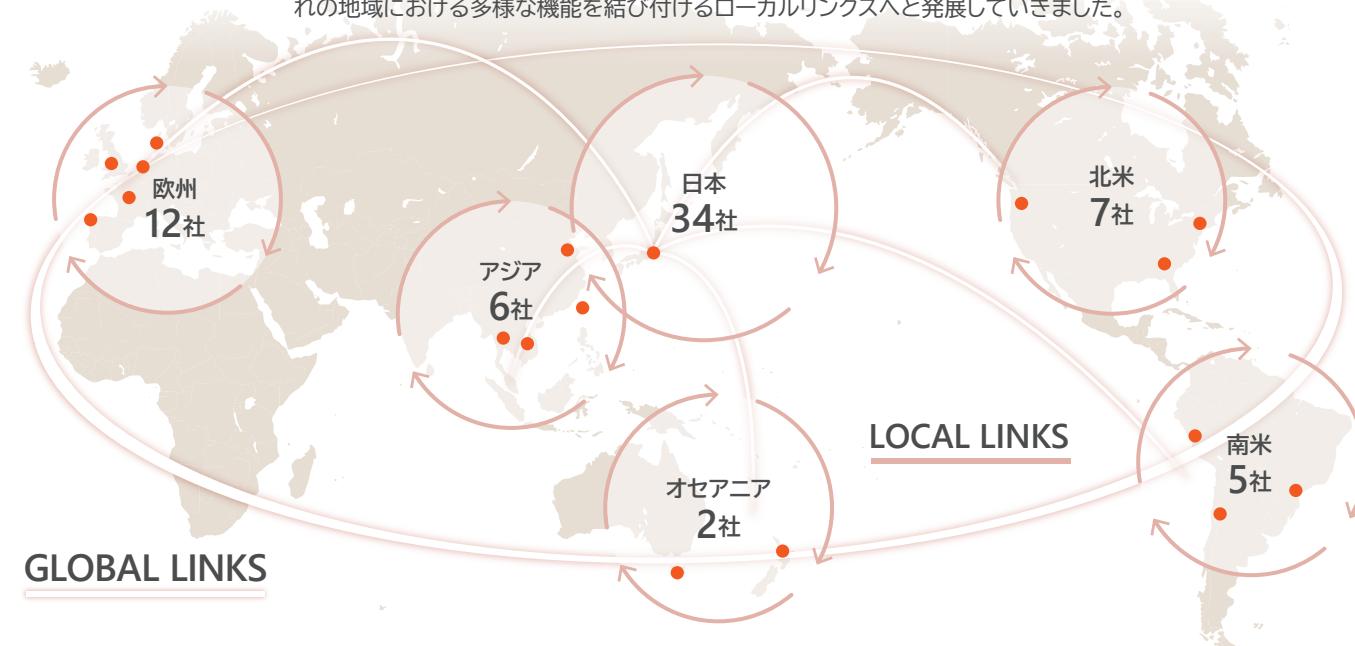
特集



GLOBAL LINKS

## 新しい“食”を共創し、世界へお届けする 「ニッスイグローバルリンクス」

今年5月、新たにロゴを制定した「ニッスイグローバルリンクス」は、ニッスイグループのミッションに示された「人々により良い食をお届けしたい」という志に共感し、独自の強みを活かして事業を展開している会社が互いに連携するグローバルな企業グループです。世界の水産資源と食卓を結ぶグローバルリンクス、そしてそれぞれの地域における多様な機能を結び付けるローカルリンクスへと発展していきました。



GLOBAL LINKS

ニッスイグループの事業規模

グローバルネットワーク

26カ国\*

連結従業員数

9,515人

\*ニッスイの子会社とその関係会社が拠点を置く国の数。

調達・生産・販売など、各機能を担う国内外のグループや関係会社と協働し、今日まで世界中のお客様に付加価値を付けた商品を提供してきました。これからも各社が独自の強みを発揮しながらシナジーを発揮し、新しい“食”をお届けしていくとともに、2030年の目標である海外所在地売上高比率50%の達成を目指し、グローバル展開を加速します。

## 養殖



陸前高田市の広田湾

### 陸前高田市でのサーモン試験養殖に着手

岩手県陸前高田市において、同市の広田湾漁業協同組合と共同で、11月よりサーモン試験養殖に着手しました。ギンザケを対象に漁場環境の調査や生産方法の検討などを行い、本格的な養殖事業への早期の移行を目指します。同県では、グループ企業の弓ヶ浜水産株式会社が2020年に大槌町でサーモンの試験養殖を開始、22年に事業化しました。続いて陸前高田市でも検討を開始し、国内養殖サーモン事業の規模拡大と同時に同県の産業振興への寄与も期待しています。

### 「活じめ黒瀬かんぱち」を10月より販売開始

養殖事業会社の黒瀬水産株式会社が養殖したカンパチを、10月より「活じめ黒瀬かんぱち」として販売を開始しました。同社は6月にニッスイグループのさつま水産株式会社を吸収合併、その養殖場を継承してカンパチを育成しています。同社が確立したブリ養殖技術をカンパチ養殖にも活用し、ニッスイグループの国産養殖魚の拡販につなげます。



10月から販売を開始した「活じめ黒瀬かんぱち」

### 「カギケノリ」陸上養殖の事業化を通じ、温室効果ガス排出削減へ

海藻の一種「カギケノリ」の陸上養殖を目指すオーストラリアのImmersion Group社(以下:IG社)と業務提携契約を5月に締結しました。「カギケノリ」は紅藻類の一種で、反芻動物が排出するメタンガス発生抑制に寄与し、畜産分野における温室効果ガス排出削減策として注目されています。当社はIG社の研究開発などを支援し、カギケノリ養殖の事業化の可能性を確認していきます。また、この協業による海藻陸上養殖の見学や技術へのアクセスを通じて、ニッスイの養殖事業へのシナジーを生み出していきたいと考えています。



カギケノリ

## サステナビリティ



黒瀬水産で現在使用されている給餌船。手前はブリを育成する生け簀

### 黒瀬水産(株)参加のコンソーシアムが水素電池の養殖給餌船開発に着手

黒瀬水産株式会社が参加するコンソーシアム※が、水素燃料電池をエネルギー源とする養殖給餌の船の技術開発、建造、現場での実証実験を行います。水産庁の「養殖業シナジービジネス創出事業」に採択されました。2023~25年度の3年間で事業期間です。養殖の成長産業化・脱炭素化に向けたカーボンニュートラルな養殖業への転換を推進していきます。

※一般社団法人海洋水産システム協会を代表機関とし、国立研究開発法人水産研究・教育機構水産技術研究所、黒瀬水産の3者で設立。

### ESG投資指数「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に初選定

ESG投資のための株価指数である「FTSE Blossom Japan Index※」の構成銘柄に初めて選定されました。世界最大規模の年金運用機関であるGPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)は、同指数を含む6本の国内株式を対象とするESG指数を採用していますが、ニッスイは今回の選定で5本目となりました。

※FTSE Blossom Japan Index:FTSEラッセル社が提供。ESG評価の高い日本企業のパフォーマンスを測定するために設計されたもので、日本株310銘柄(2023年6月19日時点)で構成されている。

### 「SeaBOS日本3社合同 海岸クリーンアップ2023」に参加

7月29日、稲毛海浜公園(千葉県千葉市美浜区)にてSeaBOS(Seafood Business for Ocean Stewardship)に参画する日本の水産企業のマルハニチロ株式会社、株式会社極洋とともに「SeaBOS日本3社合同海岸クリーンアップ2023」を実施しました。清掃を通じてプラスチックごみの海洋流出を防ぐことだけでなく、従業員の意識変容を促し、ニッスイグループ全体でプラスチック使用の一層の削減や循環型社会への移行など、事業を通じた課題解決につなげていきます。



収集したごみを集める参加者



FTSE Blossom Japan Index